

奈良県感染症情報

平成 30 年 第 30 週(7 月 23 日～ 7 月 29 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	3.26	(3.06)	↘	↘	↘	↓
2	ヘルパンギーナ	3.00	(2.06)	↑	↑↑	→	↑↑
3	手足口病	1.76	(1.76)	↑	↗	↗	↑↑
4	A群溶連菌咽頭炎	1.53	(1.15)	↘	↘	→	→
5	突発性発しん	0.41	(0.41)	→	→	→	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

ヘルパンギーナの報告数が増加しています。特に郡山保健所管内、吉野保健所管内で増加しており、3歳以下の発症が多い状況が続いています。

手足口病は報告数が多い状況が続いており、吉野保健所管内では、定点あたり報告数が6.5と、警報開始基準値の「5」を超えています。手足口病は症状がなくなった後も便から2～4週間ウイルスが排出されます。手洗いをを行い、タオルの共用は避け、感染拡大防止に努めましょう。また、大人が感染することもあるため、おむつの処理後は必ず流水と石けんで十分に手洗いをを行うよう注意して下さい。

夏休みに入り、人混みの中へ出かける機会が増えているかと思えます。帰宅時には、手洗い、うがいを行うなど感染症予防対策を心がけましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

夏休みに入り、手足口病やヘルパンギーナ等夏風邪が増えています。発熱は1～2日までです。水泡疹ははっきりしたものから細かいものまで多様です。その他は目立ったものではありません。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

夏風邪パターンとなってきた。ヘルパンギーナ、手足口病が急増。

高熱、咽頭所見ヘルパンギーナで1～2日後に手足を中心に広い範囲にやや小さい発疹が出て水疱形成がほとんどなくコクサッキーウイルス感染症というほうが適当と思われる例もある。

他に髄膜炎疑いの5歳男児例があり紹介した。水痘が流行中。

感染性腸炎は続いているが軽症状経過。エアコン完備か汗疹がほとんど見られなくなった。

3か月男児、咳嗽、ゼロゼロ、37.5度の気管支炎例でRS陽性を確認した。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

手足口病、ヘルパンギーナが急増。ヘルパンギーナは高熱で咽頭所見も強い。アデノウイルス感染症は減少した。髄膜炎の合併症例はあまりみられない。

呼吸器系感染症は猛暑、エアコン室内での寝冷え様の患者が多い。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 30 年 第 30 週 7 月 23 日 ~ 29 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	7 (0.21)		1 (0.11)	3 (0.43)	3 (0.50)			
咽頭結膜熱	8 (0.24)	2 (0.22)	1 (0.11)	2 (0.29)	3 (0.50)			
A群溶連菌咽頭炎	52 (1.53)	6 (0.67)	12 (1.33)	3 (0.43)	26 (4.33)		5 (2.50)	
感染性胃腸炎	111 (3.26)	15 (1.67)	36 (4.00)	20 (2.86)	38 (6.33)		2 (1.00)	
水痘	6 (0.18)	2 (0.22)	3 (0.33)	1 (0.14)				
手足口病	60 (1.76)	12 (1.33)	14 (1.56)	15 (2.14)	6 (1.00)		13 (6.50)	
伝染性紅斑	6 (0.18)	1 (0.11)	2 (0.22)		3 (0.50)			
突発性発しん	14 (0.41)	3 (0.33)	4 (0.44)	2 (0.29)	5 (0.83)			
ヘルパンギーナ	102 (3.00)	17 (1.89)	31 (3.44)	27 (3.86)	16 (2.67)		11 (5.50)	
流行性耳下腺炎	5 (0.15)		3 (0.33)		1 (0.17)		1 (0.50)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	7 (0.70)		5 (1.67)	1 (0.50)	1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	2 (0.33)				2 (2.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核1件(中和1)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症2件(吉野1、中和1)
5類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症1件(中和1) 百日咳2件(中和1、0歳、奈良市1、8歳)

❖ 第30週のトピックス ❖

◆夏休みにおける海外での感染症予防について

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html

◆ダニ媒介感染症

https://www.forth.go.jp/news/2018/07091500_00002.html

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計	累計		
インフルエンザ	男女																					7841	7811	
RSウイルス感染症	男女		1	1	1																	2	156	
咽頭結膜熱	男女		1	1	1						1											5	212	
A群溶連菌咽頭炎	男女			2	6	2	4	6	3	6	1		2									30	1029	
感染性胃腸炎	男女		4	6	4	8	5	4	4	4	2	1	3		2							47	3032	
水痘	男女								1	2												3	142	
手足口病	男女	1	4	11	5	3	4		1	2												31	197	
伝染性紅斑	男女				1	1					1											29	170	
突発性発しん	男女		5	1																		6	227	
ヘルパンギーナ	男女		1	18	10	7	5	6	3	1	1		1									53	256	
流行性耳下腺炎	男女		2	11	11	7	7	5	3				1	1								49	213	
急性出血性結膜炎	男女																					2	38	
流行性角結膜炎	男女										2											3	33	
細菌性髄膜炎	男女																						1	
無菌性髄膜炎	男女																					1	50	
マイコプラズマ肺炎	男女			1	1																	6	60	
クラミジア肺炎	男女																						4	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						6	4

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28 〰 過去10年平均

